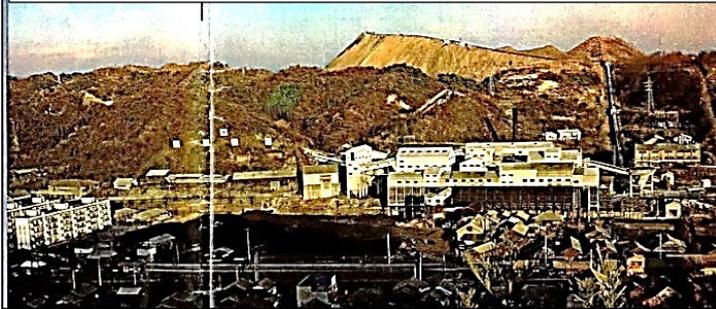


＜辰ノ口ゼミナール＞のご案内（令和7年度）



写真：福島県いわき市常磐湯本町辰ノ口1番地

湯本砦ズリ山をバックに夕日に映える常磐炭礦(株)磐城礦業所。地上部分も大規模ですが地下には延長すると横浜まで届く斜坑、水平坑等が縦横に走り、入気・排気の風が吹く中、電車が行き交い、大型切羽、ベルトコンベヤー、ポンプ座等大規模施設が24時間稼働、辰ノ口は正に常磐炭礦(株)の1丁目1番地でした。(写真は昭和30年代)

◎基本的に全部オンライン講座

※第35回、第37回～第39回、第41回は午前は座学、午後は現地調査となります。午後の部にも参加する方は各自で昼食をご用意ください。よろしくお願いいたします。

網かけは現地巡検

■第35回 4月12日(土) 10時～16時 済⇒参加者午前9名

10時～12時 座学「常磐地区の炭鉱遺産について」

会員 熊澤幹夫

会員 増田洋輔

13時～17時 現地巡検 済⇒参加者11名 車4台で乗合せ

■第36回 5月10日(土) 13時～15時 講師 早稲田大学大学院 鈴木崇広氏 済⇒14名

「石炭産業における労働者の反復移動と定着—昭和20年代の常磐炭田<季節夫>の縦断分析」

※講師が昨年6月8日(土)に行った「日本の石炭産業における移動労働者—常磐・宇部・筑豊の炭鉱への出稼ぎ—」の続編とも捉えられます。

尚、別件もあり講師と嶋崎先生は前日午後に来山されるそうです。

■第37回 6月7日(土) 10時～16時 講師 以下の通り

10時～12時 座学「好間地区の炭鉱遺産について」

会員 大坊真輝

「ほるる及び平地区の産業遺産について」

会員 野木和夫

13時～16時 現地巡検 (ほるるは屋外にある展示物のみ)

■第38回 6月14日(土) 10時～16時 講師 会員 笠原方明

10時～12時 座学「広野・双葉・小川・赤井地区の産業遺産について」

13時～16時 現地巡検

■第39回 7月12日(土) 10時～16時 講師 会員 馬目太一  
10時～12時 座学「内郷地区の炭鉱遺産について」  
13時～16時 現地巡検

■第40回 8月09日(土) 13時～15時 講師 会員 野木和夫  
「常磐炭田にあった青い目の捕虜収容所」 戦時中、常磐鹿島と好間の二か所にあり捕虜を大勢使役しておりました。戦時中と戦後では立場が逆転、どんな状況だったのでしょうか、

■第41回 9月13日(土) 10時～16時 講師 会員 菊地啓正  
10時～12時 座学「北茨城・高萩地区の産業遺産について」 場所 高萩地区  
13時～16時 現地巡検

■第42回 10月11日(土) 講師 13時～16時 講師 講師 会員 小宅幸一  
13時～14時 座学「勿来・田人・遠野地区の産業遺産について」  
14時～16時 現地巡検

\*\*\*\*\*

■第43回 11月 8日(土) 10時00分～18時30分 **特別拡大講座**

テーマ「(仮) 常磐炭田の伝承」

10時00分～12時「(仮) 現代の小学生と炭鉱教育」 講師 会員 佐藤哲哉(先生)  
(実際教壇に立っていた佐藤会員に現状や将来についてたっぷりとお話いただきます。)

昼食・休憩(30分)

12時30分～13時30分「(仮) 常磐炭田デジタルアーカイブと炭鉱教育について」  
講師 東京大学大学院 牛島百合子氏

13時30分～14時30分「(仮) 地元小中学校でのヘリテージ・ツーリズム活動」  
講師 会員 熊澤幹夫 菅野昭夫(いわきHT協議会として)

コーヒーブレイク(20分)

14時50分～16時00分「(仮) いわき市小中学校地域教育の現状」  
講師 いわき市教育委員会担当の方

16時30分～17時30分「(仮) いわき市石炭・化石館の炭鉱伝承活動」  
講師 いわき市石炭・化石館 渡辺文久(研究会会員)

17時30分～18時30分 質疑応答・交流会

\*\*\*\*\*

■第44回 11月22日(土) 13時～15時 講師 会員 鈴木翔太郎

「(仮) 常磐炭田における科学と社会」

鈴木氏の研究テーマ(炭鉱以外、科学と社会の話)の紹介と、昭和47年に発行された水産試験場研究報告「選炭排水の改善処理に伴う放流河川の汚濁負荷量の変動について」の簡単な紹介。

■第45回 12月13日(土) 13時～16時(1時間延長) 講師 会員 小宅幸一

「石炭・炭鉱の時代と常磐炭田ー地域発展の歴史を創った<黒いダイヤモンド>の物語」

坑内採炭終了50周年記念出版物も大詰め、本を読んだだけでは分からない著者の意向を直接勉強しましょう。常磐炭田研究の絶好の機会です。是非ご聴講を……。コーヒープレイクも設営しますのでご意見・ご感想を述べて下さい。来年令和8年度はいよいよ出版です。

※全炭博研クラシック フォーラム(令和8年1月25日実施予定)のリハーサルも兼ねる事を検討中。

♥ 1月10日(土) 休止 「全炭博研in常磐」開催月で休止。

■第46回 2月14日(土) 13時～18時 以下の通り「全炭博研in常磐」報告

13時～14時30分「全炭博研in常磐を主催して」いわき市石炭・化石館館長 若松貴司氏

14時30分～16時「全炭博研in常磐報告」 会員 増田洋輔

16時30分～18時頃まで 恒例の会費制による慰労会・懇親会

■第47回 3月14日(土) 13時～15時 講師 会員 高橋和幸

テーマ「(仮) 戸部炭鉱(株) 鉱業所長のライフ・ストーリー」

講師が昨年購入した常磐湯長谷町の物件は何と戸部炭鉱(株) 鉱業所長宅でした。又、残された荷物(前所有者からは高橋会員に全部譲渡する旨)には貴重な日記、手記、会社辞令や経歴書、図面、写真等の貴重な一次資料があり、鋭意調査中であります。戸部炭鉱(株)と常磐炭鉱(株)との違い、所長のライフスタイル等々興味が惹かれます。その中間報告を致します。

\*\*\*\*\*

■現地巡検 久しぶりに原点に戻り、「片寄平蔵石炭発見～西部砒採炭終了の足跡を辿る」的なものを10月～11月頃に実施したい。常磐炭田(いわき地区)の看板ルートとして定着出来れば・・・と考える。引き続き来年3月頃、常磐炭田(茨城地区)も神永喜八～望海地区露天掘りまでのコースを考える。番外編として「令和の石炭<小名浜港>」や「浜通りエネルギー変遷の足跡」コース等もいろいろ検討してみたい……。